

博士と過ごした
ひとときは
私とルートにとって
本当に大切な
時間でした



第一回本屋大賞に輝く大ベストセラー、待望の映画化

博士の愛した数式

寺尾 聡 深津 絵里 齋藤 隆成 吉岡 秀隆 浅丘 ルリ子

監督：小泉 堯史『雨あがる』『阿弥陀堂だより』 原作：小川 洋子（『博士の愛した数式』新潮社刊）

脚本・監督：小泉堯史／原作：『博士の愛した数式』小川洋子著（新潮社刊）／撮影：上田正治、北澤弘之／照明：山川英明／録音：紅谷信一／美術：酒井賢／音楽：加古隆／編集：阿賀英登
音響効果：斎藤昌利／装飾：柴田博美／衣裳コーディネーター：黒澤和子／ヘアメイク：杉野剛／助監督：酒井直人／エグゼクティブ・プロデューサー：鎌名保／プロデューサー：荒木美也子、坂井敏
製作：『博士の愛した数式』製作委員会（アスミック・エースエンタテインメント、博報堂DYメディアパートナーズ、IMAGICA、住友商事、東急レクリエーション、新潮社）
製作プロダクション：アスミック・エースエンタテインメント 配給：アスミック・エース

hakase-movie.com

原作を読んで、映画を観て、また原作を読みたくなる映画だと思いました。心が温かくなりました。
博士や映画のルート（√）にも出会えていたら、自分も数学が好きになっていたのではないかと思います。

書泉 西葛西店 前川 研さん（男・29歳）

きらめく一瞬こそが生きる意味なのかもしれないと思った。

数学という真実に愛を捧げる博士の真摯さと、
家政婦の素直さが友愛数のように絡みあって美しかった。

紀伊国屋書店 新宿本店 今井 麻夕美さん（女・29歳）

大好きな小説がどのような映画になっているか楽しみにしていました。

原作の中のキラキラした輝きが
全く失われずに映画になっていて感動しました。

旭屋書店 池袋店 岩井 織江さん（女・28歳）

とっても思い入れのある作品の映画化で、ドキドキしながら見ましたが、

小説のイメージを全く壊さず、ゆっくりと広がる感動が味わえました。

三省堂書店 八王子店 小松崎 敦子さん（女・26歳）

演じた俳優の方々、スタッフの方々、

そして原作者の小川洋子さんに感謝したい—そんな作品です。

博士がとても愛おしいです。発する言葉ひとつひとつも美しかったです。

博士の数学への愛はもちろん、
人間への愛もとても感じました。

須原屋武蔵浦和店 飯田 裕子さん（女・24歳）

オリオン書房 ノルテ店 金城 彩子さん（女・24歳）

いち早くこの映画を観た本屋さんから
大絶賛の声が届いています。

移りゆく四季や風景も美しく、何より数学嫌いだった私も
魅力的に思った数式や数の美しさ、楽しさに溢れていました。
大人だけでなく、子供にも是非みてほしい映画でした。

丸善 丸の内本店 本田 友紀さん（女・24歳）

とにかく、温かくて、せつない、
素晴らしい映画でした。
なぜか中学3年の娘に観せたいな、と思いました。

進賢堂 渡辺 順一さん（男・51歳）

久しぶりに心打たれる映画に出会えました。

繰り返す日々、まして博士は80分を越えられない
本当に繰り返す日常から見出された幸福に、とても感動しました。

ブルミエール本吉書店 小林 まりのさん（女・21歳）

人と人のつながりや愛が数字にも感じられる、
逆に数式から人と人の温かな関係を教えてもらえる、
とても素敵な作品だと思いました。

好きな人と一緒に観たい映画だと思いました。

丸善 丸の内本店 尾崎 祐子さん（女・25歳）



原作：『博士の愛した数式』小川 洋子著（新潮社刊／定価：1575円）
※新潮文庫版、11月下旬発売

本屋さんを選ぶ〈第一回本屋大賞〉に輝く大ベストセラー

2006年1月21日(土)より
全国松竹・東急系ロードショー!!

劇場窓口のみ先着特典「記憶が思い出にかわる」付箋 付 特別鑑賞券（一般）¥1300発売中!

（当日料金—一般¥1800／大・高生¥1500の処） ●表示金額税込 ●一部劇場を除く

オリジナル・サウンドトラック 音楽・ピアノ：加古 隆 ソプラノ独唱：森 麻季 1月11日発売

渋谷東急 03-3407-7219	新宿東急 03-3202-1189	丸の内TOEI② 03-3535-4740	テアトル池袋 03-3987-4311	上野東急2 03-3831-6620
109シネマス木場 03-5683-0109	T・ジョイ大泉 03-5933-0147	シネメディアージュ 03-5531-7878	吉祥寺パウスアター 0422-22-3555	MOVIX本牧 045-625-4766
相鉄ムービル 045-311-0330	109シネマスMM横浜 045-664-0109	109シネマス港北 045-948-5151	川崎チネチッタ 044-223-3190	シネマックス千葉 043-202-0088

日本アカデミー賞受賞の小泉堯史監督、寺尾聰、深津絵里 主演最新作 永遠に心に生き続ける、「至高の愛」の物語。



日本を代表する実力俳優の競演
そのまっすぐな演技が伝える、一途な生き方、人間のぬくもり

原作は、芥川賞作家 小川洋子のベストセラー「博士の愛した数式」。本屋さんが選ぶ第一回本屋大賞、第55回読売文学賞を見事受賞した名著を、『雨あがる』で2001年日本アカデミー賞最優秀作品賞を受賞、海外でも第56回ヴェネチア映画祭で「緑の獅子賞」を受賞するなど高い評価を受け、『阿弥陀堂だより』で日本中に優しさと感動を届けた小泉堯史監督が映画化。その下に集まったのは、日本アカデミー賞受賞俳優寺尾聰、深津絵里、齋藤隆成、吉岡秀隆、浅丘ルリ子といった日本を代表する豪華キャストと最高のスタッフ陣。
「数式」という一見小難しく思われるものから溢れる美しく温かな愛が、人間の清明さと人を愛することの尊さを綴ります。
「今」という時間の喜びと、心に生き続ける大切な人の存在――。
本物の映画として全ての日本人に観て欲しい、永遠に心に刻まれる日本映画が誕生しました。

80分しか記憶がもたない天才数学博士と家政婦とその10歳の息子。
驚きと歓びに満ちた日々が始まった。

10年前にあった交通事故で、天才数学者の「博士」は記憶がたった80分しかもたない。何を喋っていか混乱した時、言葉の代わりに数字を持ち出す。それが、他人と話すために博士が編み出した方法だった。相手を慈しみ、無償で尽くし、敬いの心を忘れず、常に数字のそばから離れようとはしなかった。
その博士のもとで働くことになった家政婦の杏子と、幼い頃から母親と二人で生きてきた10歳の息子。博士は息子を、ルート（√）と呼んだ。博士が教えてくれた数式の美しさ、キラキラと輝く世界。二人は、純粋に数学を愛する博士に魅せられ、次第に、数式の中に秘められた、美しい言葉の意味を知る――。



監督 小泉堯史さんより

言葉は、過去から、このいまに直接働きかけ、記憶を呼び起こし、イマジンネーションを豊かにしてくれます。しかし、思い出せる記憶だけが、記憶の全てではありません。心の奥深く、思い出せない記憶にこそ、切なく、美しい記憶があるかもしれません。

原作者 小川洋子さんより

『博士の愛した数式』は、まさに素数のような映画だと思ふ。いつかどこかで観た、あの映画に似ている、と感じさせる瞬間がない。あらゆる場面、風景、台詞が、どれもこれも特別で、他の何ものと比べることもできない。

監督・脚本：小泉堯史（『雨あがる』『阿弥陀堂だより』）
原作：「博士の愛した数式」小川洋子著（新潮社刊）
主演：寺尾聰、深津絵里、齋藤隆成、吉岡秀隆、浅丘ルリ子
2005年日本/1時間57分
カラー/ヴィスタサイズ/ドルビー・デジタル
製作：「博士の愛した数式」製作委員会
（アスミック・エース エンタテインメント、博報堂DYメディアパートナーズ、IMAGICA、住友商事、東急レクリエーション、新潮社）
製作プロダクション：アスミック・エース エンタテインメント / 配給：アスミック・エース
©2006「博士の愛した数式」製作委員会
hakase-movie.com

博士が教えてくれた数式②
〈完全数〉

最小の完全数は「6」。自分自身を除く約数の和が、もとの数と等しくなる数字のこと。

6の約数 {1, 2, 3, 6}
6以外の約数の和 = 1+2+3=6

博士「デカルトはね、完全な人間がめったにいないように、完全な数もまた稀だといっている。この数千年の間に見つかった完全数の数は、三十個にも満たないんだよ。」

Q:2番目の完全数を考えてみよう
ヒント 阪神タイガースのエース、江夏豊の背番号
答えはオフィシャルサイトで
hakase-movie.com

博士の愛した数式

